



家族で  
がんばる！

# ねむろゼロカーボンアクション！

## おうちでできること！

- 電気のつけっぱなしをやめよう！
- 家電の省エネ機能を使ってみよう！
- 使っていない家電はコンセントを抜こう！
- シャワーの流しっぱなしに気を付けよう！



POINT! 使用する電気を減らすことで家電によるCO<sub>2</sub>を削減

- 家庭のCO<sub>2</sub>排出量を調べてみよう！

POINT! 排出量を見える化し、さらなる排出量削減につなげる

# 3R

- 紙は両面使おう！
- リサイクル素材のものを探してみよう！
- 詰め替えが出来る商品を選ぼう！
- ごみを分別しよう！



環境忍者  
えこ之助

POINT! 製品の製造やごみ処理により発生するCO<sub>2</sub>を削減

スリーアール ※3Rとは…環境のための3つの取組みのこと。

- ①Reduce= ごみをつくらない
- ②Reuse= 繰り返し使う
- ③Recycle= 再利用する

## おでかけの時にできること！

### 省エネ

- 歩ける距離の場所には歩いていこう！
- ノーマイカー通勤の日をつくろう！
- 地元の食材を選ぼう（地産地消）



車より徒歩や  
自転車が良いで  
ござるよ！

## 目指そう！ ゼロカーボンねむろ

小さなことから  
コツコツと



POINT! 移動、輸送により発生するCO<sub>2</sub>を削減

### 3R

- エコバッグを持ち歩こう！
- 「手前取り」をして、食品ロスを減らそう！

POINT! 製品の製造やごみ処理により発生するCO<sub>2</sub>を削減

# 根室地域“みんな”でつくる！ ゼロカーボンねむろ



地球温暖化がもたらす  
様々な環境などの変化



写真：風蓮湖（春国岱）  
2005年11月  
ラムサール条約登録

サケやサンマの不漁

ゼロカーボンって  
なんだろう？



地球温暖化の原因となる温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を減らし森林等の吸収源を確保することで、実質的な排出量をゼロにする考え方です。北海道では、環境と経済・社会が調和して成長を続ける「ゼロカーボン北海道」の取組を進めています！



自分ができることで  
みんなに小さくとも  
地域みんなで一歩ずつ

## 私たちが住む根室地域には ゼロカーボンの可能性がいっぱい！

## 根室の人々や自然の未来のために、地域みんな ゼロカーボンねむろ に取り組みましょう！







# ねむろ地域のゼロカーボンポテンシャル



## ゼロカーボンねむろ共同メッセージ

### 温泉熱

今後のエネルギー利用

温泉以外の余った熱エネルギー

- 生活
- 産業
- 発電

温泉熱エネルギーは様々な用途で、利用可能なポテンシャルがあり、今後活用できる可能性があります。

### ブルーカーボン

広い海岸線 全道の約16% (479 km)

CO<sub>2</sub> 水に溶けやすい + 海藻類の光合成

同じ面積の森林の約2.4倍のCO<sub>2</sub>吸収能力!

「北海道開発局 昆布漁場におけるブルーカーボン貯蓄評価の試み」より

### 家畜ふん尿バイオマス

日本有数の酪農地域を構成!

生乳生産量・飼養頭数・出荷頭数は道内の約1/3を占めます(道内1位)

私たち根室地域の1年間で排出される家畜ふん尿 317万t 道内の約15% (令和元年度)

家畜ふん尿1tから得ることができる推定エネルギー量は

「ふん尿1tあたり約160~190kwh」  
「農業機械学会誌第66巻第1号(2004)家畜ふん尿のエネルギー利用とその課題 -メタン発酵によるエネルギー利用-」を参照

1世帯が半月以上も生活できるエネルギー量に相当します!

※使用時間・増減による  
「令和2年度北海道家庭用エネルギー消費実態調査」を参照



### 木質バイオマス

豊かな森林 (グリーンカーボン) (グリーンカーボン)

森林がCO<sub>2</sub>を吸収してくれるのでござる!

生活で出るCO<sub>2</sub>を吸収するには、たくさんの樹木が必要です。根室地域は面積の約半分(約49%、17万<sup>9</sup>/<sub>10</sub>%)が森林です!

たくさんの森林がある根室地域はゼロカーボンのポテンシャル(潜在的可能性)がとても高いと言えます!

一年の道民一人あたりの生活でのCO<sub>2</sub>排出量約3.11tは、トドマツ(樹齢約30年)約900本のCO<sub>2</sub>吸収量に相当

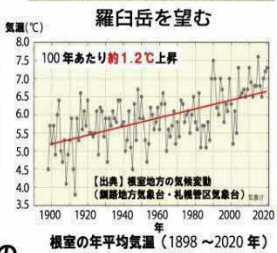
(参照)「森林のもつ二酸化炭素の吸収・貯蔵機能について -北海道水産林務部林務局森林計画課-」

## ゼロカーボンねむろの推進に向けて

◆世界自然遺産「知床」、ラムサール条約に登録された「野付半島」や「風蓮湖」など、根室地域の世界に誇れる自然を守っていくこと、それが私たちの使命です。



◆しかしながら、近年の地球温暖化により、私たちの生活や自然環境に影響が出ています。



地球温暖化により「大雨による被害」「サンマやサケの不漁」などが発生しているのではないかとされています。

◆このため、北海道では、地球温暖化を食い止めるため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を減らし、吸収量とバランスをとることで、2050年までに排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しています。



◆こうした中、私たちの根室地域は「再生可能エネルギー」を活用して排出量を減らしたり、森や海を活用して吸収源を確保する潜在力の高い地域であり、令和3年3月の羅臼町を皮切りに、令和5年3月までに根室市、別海町、中標津町、標津町でも「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

- 【再生可能エネルギー】「風力」「バイオマス」「地熱」「温泉熱」など。
- 【吸収源の確保】「植林や森林管理」「ブルーカーボン」など

◆根室全域でゼロカーボンを目指すことを表明した今、行政をはじめ、関係機関、団体、事業者、住民の皆様が一丸となって、地域でできることを地域全体で進める「ゼロカーボンねむろ」に取り組んでいきましょう。

【日常生活の中でもゼロカーボン実現のためにできること】  
「こまめな消灯」「マイバッグの利用」「地元食材を選ぶ」など

【令和5年4月1日】  
根室市長 石垣 雅敏 別海町長 曾根 興三  
中標津町長 西村 稔 標津町長 山口 将悟  
羅臼町長 湊屋 稔 根室振興局長 岡嶋 秀典

【問合せ先 北海道根室振興局保健環境部環境生活課 ☎0153-23-6821】

